

新市の町で、自ら学び、やさしく、たくましい児童の育成

(「キャリア教育の視点」自己理解力・チャレンジ&チェンジする力・自己表現力)

2026年(令和8年)3月

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
育ってほしい児童の姿	<p>自己理解力</p> <p>チャレンジ&チェンジする力</p> <p>自己表現力</p> <p>＜入学時の児童の様子＞ ○思いを伝え合う中で、お互いの違いを受け止め、「どうしたい」「どうしてほしいか」を伝えようとしている。(理) ○好きな遊びを通して、友だちとつながり、苦手な事にも興味を持ち積極的に関わろうとしている。(チャ) ○生活や遊びを通して、言葉や数への関心を深め、知っていることをつかって伝えている。(表)【保育所より】</p> <p>・自分が話すだけでなく、友だちの話に対して興味をもって聞く。(理) ・学校のことをよく知り、安心して学校生活を送れるようになる。(チャ) ・友だちと関わりながら学習したり生活したりすることに慣れる。(チャ) ・学校探検で見つけたもの、気付いたこと、疑問に思ったこと等を先生や友だちに進んで話す。(表)</p> <p>・グループで話し合ったり、一緒に活動したりする中で、自分の考えを進んで話したり、相手の考えを受け入れたりして、よりよい活動となるように工夫する。(チャ・表) ・気付いたことや疑問に思ったこと等を、聞き手を意識して、分かりやすく話す。また、友達の話を反応しながら聞く。(表・理) ・「あきのテーマパーク」では、年長児に楽しんでもらえるように、遊びを計画し活動する中で、自分や友だちのよさを見つける。(理)</p> <p>＜期待する児童の姿＞ ○自信をもって、自分の考えを進んで書いたり話したりしてあいてに伝えることができる。(表) ○自分のやりたいことを見つけ、最後まで取り組もうとしている。(チ) ○自分のよさに気付く。(理)</p>											
主な学習活動	<p>「がっこうとなかよくなるう」「ともだちとなかよくなるう」 ○学校探検を通して、施設の場所や使い方を知り、学校生活に安心感をもつ。 ○新しい友だちと遊んだり、上級生や先生たちと関わったりして、学校にいる人たちに親しみをもつ。 国「おはなしききたいな」「なんていおうかな」「こんなものみつけたよ」「としょかんへいこう」「あつまってはなそう」「どうぞよろしくね」 算「10までのかず」「なんばんめ」道「はりきり一年生」 音「うたっておどってなかよくなるう」道「あかるいあいさつ」</p> <p>「はなややさいおおきくなってね」「はなややさいがもっとおおきくなったよ」 ○幼児期の学びを活かし、アサガオの植え方や育て方を話し合ったり関心をもって世話をしたりする。 ○生長の様子を観察して、絵や文で表したり、花の数を数えてグラフに表したりする。</p> <p>「なつはおもしろいことがいっぱい」 ○水鉄砲を作り、年長児を招待して一緒に遊ぶ ○試行錯誤したことや楽しかったことを絵や文に表したりする。→数える・表現する</p> <p>生活科を中心とした合科的・関連的な学習活動の充実 「おたから はっけん だいさくせん」</p> <p>生活科を中心とした合科的・関連的な学習活動の充実 「みんなにここ 大さくせん」</p> <p>「たねやみになったね」「あきをみつけよう」「たのしいあきのあそび」「ようこそあきのテーマパークへ」 ○秋の自然に触れ、今までの経験を活かし、自然を使った遊びを工夫する。 ○年長児を招待するために、どんな説明をすればよいか相手意識を持って活動する。 算「10より大きいかず」国「てがみでしらせよう」「知らせたいな、みせたいな」「ものなまえ」 学「あきのテーマパークにむけて」 ・幼保小交流会(秋のテーマパーク)</p> <p>「さむくなくてもあそぼうよ」「もうすぐ2年生」 ○入学してからの、自分や友だちの成長に気付き、2年生に向けての目標を持つ。 ○新入生を迎えるにあたって、先輩としてどんなことができるか考え、活動する。 ○お世話になった6年生に感謝の気持ちを伝える。 国いいこといっぱい一年生 学「6年生を送る会に向けて」 学「2年生に向けて」「お楽しみ会」 ・幼保小交流会(小学校の紹介) ・6年生を送る会</p> <p>「うつつしたかたちから」 ○いろいろな材料の形を写し、形や色から表したいことを見つける。校内美術館を開催する。</p> <p>言葉と数の獲得</p> <p>ぺったんコロコロ ○年長児を招待し、体全体を使って夏野菜等いろいろな材料の形を写し形や色を楽しむ。</p> <p>新市ミッション</p>											
環境構成(人・もの・こと等)	<p>4月「わくわくタイム」弾力的な時間割の設定(楽しい気持ちで1日がスタート)</p> <p>【朝の会から1時間目を連続した時間とし、幼児期に親しんできた遊びや活動を位置づける】 ○登校～8時20分 登校した児童から朝の支度を済ませ、担任と朝の挨拶と健康観察 ⇒自由遊び(6年生と一緒に) ○8時20分～9時 ⇒自由遊び(1年だけ・振り返り) ※8時30分までは、複数の職員で見守る(担任は教室) ※ねらいを明確にし、計画を立てて行う。 ○9時～9時25分 ⇒振り返り後の遊び・学級遊び</p> <p>1年を通して 教室配置 1年生教室を、6年生教室の隣に配置し、6年生が1年生に様々な支援を行いやすくする 6年生が、そうじ・給食当番の手伝いをする(4・5月) 柔軟な学習形態 内容に応じて、教室以外の場所を使ったり机の配置を変えたりして学習を行う。 ゆったりした時間の中で進められるように2時間続きにしたり、合科的な学習を行ったりする。 視覚的支援 片付ける場所や活動の流れなど、絵や写真で可視化して掲示する。</p>											
連携	<p>7月 水鉄砲遊び ・年長児を招待して、一緒に水鉄砲や野菜スタンプ遊びを楽しむ</p> <p>10月 校内発表会園児参観 11月 秋のテーマパーク(保小交流会) ・1年生が秋の自然を使ったおもちゃを作り年長児を招待する</p> <p>2月 小学校体験会 ・新市小入学予定園児全員招待する ・参加型で行う(内容は1年生が考える)</p> <p>3月 5年生との交流会</p> <p>・幼保小連絡協議会(年2回) ・1年生授業参観・個の交流(4・5月) ・新市小校内授業研、保育所職員参加 ・保小合同研修会(8月) ・入学予定児の引き継ぎ(2月～)</p>											
家庭	<p>4月～タブレットが配布される時期まで</p> <p>・宿題や時間割、持ち物など詳しく通信で発信する。 ・ひらがな50音を習い終え、タブレットが配付される頃より、児童が連絡帳を書く。 ※詳しいことは、すぐるで配信して、保護者が見てすぐ分かるようにする。</p> <p>1年を通して</p> <p>・連絡帳や電話、家庭訪問を通じて、保護者と学校が密に連携をとる。 ・学年通信で、学校での様子を細かに伝える</p>											